発行　全国商工会議所青年部連合会
東京都千代田区丸の内3－2－2
日本商工会議所中小企業振興部内
☎03・283・7847
編集　広報委員会

翔生

（しょうせい）

昭和63年（1988年）
3月1日号
通巻　第4号
（年2回　3月・10月発行）

63年度商青連年間スケジュール

63．4／12	第27回商青連役員会
5　月	商工会議所青年部運営活動状況調査
6／3	第28回商青連役員会
6／4	四国ブロック大会（坂出商青主管）
7／28	第29回商青連役員会
8／26	九州ブロック大会（平戸商青主管）
9／2	近畿ブロック大会（奈良商青主管）
9／4	中国ブロック大会（鳥取商青主管）
9／10	東北ブロック大会（長井商青主管）
9／13	東海ブロック大会（津商青主管）
9／16	関東ブロック大会（浜松商青主管）
9／17	北陸信越ブロック大会（中野商青主管）
9／24	北海道ブロック大会（浦河商青主管）
10／1	商青連「翔生」第5号発行
10／5	第30回商青連役員会
11／17	第31回商青連役員会
	第9回会員総会（山口市にて）
11／18	全国大会（山口県連主管・山口市）
12／6	第32回商青連役員会
	64年度役員との懇談会
12／7	64年度役員第1回打ち合わせ会
	及び64年度正副会長第1回会議
64．1／20	第33回商青連役員会・64年度
	役員会第2回打ち合わせ会
1／21	64年度正副会長第2回会議
2／9	第34回商青連役員会
	第6回中央研修会
2／10	第10回商青連会員総会
	64年度役員第3回打ち合わせ会
3／1	商青連「翔生」第6号発行

盛大に第8回会員総会

商青連創立五周年を機に飛躍期す

特別委員会設置など記念事業

[illegible]

（バトンタッチ）
商青連旗を前に握手する古川会長（右）と萩原新年度会長

21世紀への長期ビジョンを策定
～商青連ポリシーの確立を～

六十三年度商青連会長　萩原　幸昭

[illegible]

63年度商青連事業計画
若い感覚と英知を結集して地域社会の発展に貢献しよう

[illegible]

一、組織の拡充・強化

[illegible]

二、研修・研究活動

[illegible]

三、広報活動の推進

[illegible]

四、主要会議の開催

[illegible]

五、政策提言活動

[illegible]

六、創立五周年記念事業

[illegible]

協調と飛躍をテーマに

[illegible]

躍動する日本列島青年部

職場対抗ボウリング大会を主催
北海道美幌青年部

美幌町は北海道の北東部に位置し、人口約二万七千人、農業と酪農の緑豊かな田園都市です。又、観光としては阿寒国立公園のある釧路と網走のちょうど中間の位置にあり、年間百万人余りの観光客が訪れています。

当部の発足は昭和五十五年で、「経済人としての自己研鑽、自己啓発に励むこと」を目的に設立されました。設立当初は勉強会に終始したため会員相互の親睦を深めるための手段として、ボウリングなどをはさみ、会員相互の親睦を図り出席率向上をはかりました。おかげで出席率も高めて良くなりました。

青年部主催で開かれた職場対抗ボウリング大会（美幌町）

現在、当部の活動は、経済講演会、講習事業の協力、各種講演会、懇談会、地域青年団との交流会を行なっております。加えて六十一年度には初めて商工会議所会員事業所の福利厚生事業として、青年部が主催になり第一回職場対抗ボウリング大会を開催しました。当日は三十六事業所、総勢百余名の参加者があり、大変盛り上がりました。

また、会員の減少が著しく、約三十人余りまでになりましたが、現在は約四十人まで増加しています。

今後の課題としては、会員相互の親睦を図り、大変な会員一同目をとめる様な内容にしようかと今から考えているところであります。

（美幌商工会議所青年部部員　前田豊志郎）

「城下町白河」を活かす
福島県白河青年部

五十八年に設立して以来、二代の会長が青年部部長の兼任であったために活力、現在四代目青年会長のもと、七十名の会員が団結固く励んでいます。

我々青年部は、経済・財政・観光・広報・小峰城・自己啓発・交流の七委員会で構成され、各々の年間計画にしたがって活動しています。

そのなかで、特色ある委員会としては小峰城址及び白河提灯委員会が挙げられます。小峰城委員会は、白河という街のシンボルともなりうる小峰城を、他の城下町の「城」のとらえ方などと比較させ研究し、白河の発展にいかに活用できるかを考察することを目的とした委員会です。

また、白河提灯委員会は、今年度の我が青年部の目玉となる企画でありますが、これは東北六魂祭よりヒントを得て、人様に立って自分の意見を述べ、理解してもらうのが一番手っ取り早いのではないかということで、「城下町白河」が青年部にみえる施策には、かなりのものがあるように思われます。

（文責　アシスト調査室による小峰城築城400年へのアピールを含む）

瀬戸大橋の街・坂出
香川県坂出青年部

坂出青年部では、瀬戸大橋の完成を機に様々な事業に取り組む

昭和六十三年四月、瀬戸大橋と本州四国連絡道路坂出ルートが開通します。これによってはじめて本州と四国が道路で結ばれることになります。この瀬戸大橋の四国側の玄関地が坂出市です。

いま、瀬戸大橋の開通を控え坂出の街は、期待と不安で揺れ動いています。坂出青年部は、この転換期を最大のチャンスとするよう様々な事業に取組んでいます。

以下最近の主な事業を紹介いたします。

○納涼船

坂出まつりの協賛事業として、海と港大会を船の上から見学するというものです。

○マスコットコンテスト

「青年部がつくる坂出のマスコット」をはじめて三百名超えました。またその発表会においては、横浜大洋ホエールズの古葉竹識氏の経営講演会を開催いたしました。

○瀬戸大橋物産フリーマーケット

当日にふるさとの物産を再認識してもらい、みやげ物等の予算をとらびに新しい品物を生み出そうというものです。

○中学校野球大会

坂出市をはじめとも活性化させようと中学校の野球大会を開催しました。これは、坂出市内または隣接する町の中学校の野球部を集めて行いました。（坂出青年部部長　永塚一二）

関東B研究会開催に燃える
静岡県浜松青年部

浜松市は、静岡県西部に位置する中核都市として、人口五十二万人、世界的に有名な楽器、オートバイの産業が市の産業を引っ張ってきています。また、豊かな自然と温暖な気候にめぐまれ、活気溢れるのびやかな、三十日のみかん狩り、企画的に有名な一大産業を持っております。

私達の青年部は六十年十二月の設立からちょうど二年たちました。設立当初から、浜松商工会議所の内部組織として、定款に明確に位置づけされており、正副会頭を始めとする会議所の諸大な理解を支援のもとに発足するという最大の恩恵に浴しました。

その理解と支援の基に、四八十五名の会員が政策研究、組織、事業、会員交流、情報の各委員会にわかれ、ビアパーティやゴルフ大会等によって培った会員相互の親睦をもとに、地域経済の活性化の研究を基盤とした提言、要望、情報、あるいは自己研鑽の為の勉強会などに幅広い事業活動を活発に展開しております。

ここに今年度は浜松商工会議所の重点事業のひとつでもある「コンベンション都市づくり」に関して、その調査、研究を委託されると青年部活動に対する期待がひとしお高まるらしい発想で行動力に大きな期待をよせられています。

こうしたエネルギーの源は、当市においては、浜松経済クラブ、浜松青年会議所などで若手経営者の団体が数多くあり、それぞれに活発な事業活動を展開している歴史の中にみることができます。その年年始われたエネルギーを基に、六十三年度開催させていただくことになった関東ブロック運営研究会を成功させるべく、その準備委員会を設立し開催に向けて一丸となって取り組んでおります。浜松商工会議所青年部部長　前田　恒上

加入率の促進を

私達北海道ブロックは、昨年東北・北海道ブロックから北海道ブロックとして分離・独立しましたが、現在会員数十六会議所の内、青年部設置数が十一しかなく、しかも、青年連加入数が三十会員数程度の加入率であり、青年連の目的である「ブロック内での相互交流等の活動が、まるならない組織で、私も北海道会長として、残念でなりません。

長野県、とりわけ長野市周辺は、全国的な高速交通網の整備から取り残され、観光・農業・工業を含めてにおいて立ち遅れている。

しかし近年、高速自動車道の建設が具体化し、青年真が出来、松代町に長野インターチェンジが設けられる事となった。

現在の松代は、智等すべき産業が無く、地盤沈下が著しい。しかし真田十万石にして幸えた城下町の松代には、史跡を活用しようという運動が多々あります。又、観光資源の発掘や、農業の後継者問題等、青年部の果たす役割は大きいものがあります。

（長野県松代青年部部員　前田豊志郎）

真田祭りで仮装に扮した松代青年部会員

「真田祭り」で活性化
長野県松代青年部

六十三年度に、第一回の北海道ブロック運営研究会を我が組織で開催し、これを機会に、道内連盟のご協力を得るながら加入率の向上を積極的に図っていきたいと考えております。

北海道ブロックにとりましても、文化が青年部にとりましても、六十三年度を有意義な年にすべく努力を傾注してまいりたいと思います。

（前北海道上会議所青年部会長　前田　利明）

隣を北側がいる所にある、これを生かした町造りがこれからの松代の発展につながる力、有形金銭がなくみうすべき後継者である我々は一層強く感じているのはあたりまえである。

この歴史的資源に基づいた松代をどう対外的にアピールし、広く知ってもらえるのかと、行動を起した。三年前より勉強に入った松代ビデオ「松代探訪」を約半年間かけて完成した。真田の里の観光化したテレビの放映、青年部のイメージ図案をプリントした手シャツの販売等である。

これと並行し、昨年文化の日に行なわれる松代最大の祭り「真田祭り」にも積極的に参加し、町民文化祭としてなく、メジャーな祭り「城祭」するために、伝統活動を受け持ち、イメージアップを図っている。当日は、十七名が足軽に扮し「槍り槍り」を行なう大名行列に参加している。

また、真田祭りの「槍と」として、十月一日に松代城跡公園内を一周の「史跡めぐり健康ウォーク」が二年連続で行なわれ、我々が主催をし、ガイド役となり参加者を町内の史跡（案内をし、PRを行なっている。

これからは、町工業にこだわらず、他の団体の青年団、青年部とのつながりを持ち、協力し共に地域を見つめ二十一世紀の地域作りをしていきたい。

（長野県松代商工会議所青年部会長　青木　文洋）

躍進の土台「市民の広場」
福井県福井青年部

[illegible]

福井青年部会主催による「市民の広場・街づくりシリーズ」の公開討論会

[illegible]

沖縄での全国大会は、高岡から参加した23名に大きな感銘を与えた

青年部活動に思う
自分自身を磨き上げる場
富山県高岡青年部会長
小竹茂樹

[illegible]

総合開発計画を提言・推進
島根県平田青年部

[illegible]

宍道湖公園予定地を視察する青年部。市の担当者から説明を受ける（平田）

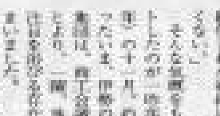
部設立20年「地域の主役」
大分県竹田青年部

[illegible]

竹田青年部会設立20周年記念式典

伝統文化でまちづくり
三重県伊勢青年部

[illegible]



注目浴びた「伊勢[illegible]」

[illegible]

燃える青年部、沖縄に集う

11・7 第七回全国大会に千六百人参加

盛大に催された沖縄での第７回全国大会

ニュース商青連ファイル

62年度商青連ニュース・ベスト10

1、商青連設立五年目を迎え、スローガン「翔こう商青連、創ろう日本の未来」のもと船出（四月）

2、アメリカ・カナダ視察研修事業成功、多大な成果をおさめ、団員総勢六〇名元気に帰国（六月）

3、商青連加入青年部二〇〇ヵ所の大台突破（八月）

4、第九回（昭和六十四年度）商工会議所青年部全国大会の開催地高知市に決定（八月）

5、各青年部並びに役員の呼称統一化を決定（八月）

6、ブロック運営研究会、全国七ヵ所で有意義に開催——統一研究テーマ「原点を見直し、二十一世紀へ翔く青年部」（五月・八月・九月）

7、紙面増・内容一新で機関紙「翔生」（三・四号）を発行（十月・六十三年三月）

8、六十三年度役員決まる——会長に薮原幸明氏（福島県・原町商工会議所青年部）（十一月）

9、第七回全国大会（沖縄県連主管）、過去最大の規模（一、六〇〇名参加）で開催（十一月）

10、第五回中央研修会、東京で開催——特別講演に眞藤恒氏（日本電信電話社長）（六十三年二月）

（次）初の試みとして広報担当者研修会を熱海市で開催（三十名参加）（十月）

大きな成果を得て!!

—第５回中央研修会—

六十三年度役員

（敬称略）

広報担当者が研修

機関紙の役割話し合う

広報委員会

62年度事業報告

総務委員長　神田博一

心に残る一冊

『危機の哲学』

難波田春夫著（経済往来社）

伊勢崎商工会議所青年部

常任理事　杉原俊夫

活力ある観光文化都市づくり

我が町我がビジョン　活性化への主役を担う　村上商工会議所　青年部

(文・能力開発委員会　佐藤　重陽)

村上商工会議所青年部は昭和五十九年十月に会員二十五名で発足し、現在四十名で組織している部会です。

[illegible]

村上の観光をアピールする「サマージャンボリー村上」は大成功！

[illegible]

青年部が走る

我がふるさとの現状と課題

まちの将来は青年部の飛躍がカギ

佐賀県鹿島商工会議所青年部　滝本　[illegible]

[illegible]

鹿島市は祐徳稲荷で知られる

[illegible]

懇談

萩原63年度商青連会長

田村通産相

内需拡大について

若手経営者に期待する

名古屋商工会議所会頭
竹田　弘太郎

地域経済活性化と中小企業

日刊工業新聞社　紺野　寛

異業種の連携で活路を切り開く

地方の魅力引出す　町創り・地場産業を

中小企業の草の根ベンチャー精神

中小企業庁の融合化対策

田村通産大臣と

田村通産大臣を囲んで　左から古賀広報委員、長谷部広報副委員長、田村通産大臣、萩原63年度会長（通産大臣室で）

世界経済の貢献

[illegible]

地域の活性化

[illegible]

中小企業政策の展開

[illegible]

私の生きがい論

夢中と感動の日々を

津山青年部　萬代　雄一

[illegible]

私の青年時代

どん底の生活から仕事に立ち向かっていった

大阪油化工業㈱
代表取締役社長
堀田　巍

[illegible]

新天地

[illegible]

女性オーナーいんたびゅー

ナオクロスシステム社長
牛久　直子さん（栃木県）

夢を創り、夢を売る「ナオコ」毎日が充実

[illegible]

彼女のプロフィール

[illegible]

[illegible]

青年部設置状況（63.2.8現在）

488商工会議所のうち、296会議所に設置　（設置率　60.7％）

ブロック名 青年部数（会議所数）	設置率	全国商工会議所青年部連合会に加入している商工会議所青年部名（207）
北海道 9（40）	22.5％	美幌、滝川、登別　（3）
東北 34（42）	81.0％	青森、一関、花巻、北上、江刺、久慈、仙台、塩釜、石巻、気仙沼、白石、秋田、大館、山形、酒田、鶴岡、米沢、新庄、長井、福島、郡山、会津若松、いわき、白河、原町、会津喜多方、相馬、須賀川、二本松　（29）
北陸信越 30（49）	61.2％	新発田、燕、村上、五泉、亀田、富山、高岡、氷見、新湊、魚津、礪波、滑川、黒部、七尾、輪島、下諏訪、塩尻、中野、松代　（19）
関東 62（92）	67.4％	水戸、土浦、古河、日立、石岡、下館、那珂湊、結城、勝田、足利、小山、真岡、前橋、桐生、館林、伊勢崎、富岡、藤岡、川口、大宮、本庄、与野、上尾、銚子、木更津、市川、茂原、野田、館山、八街、東金、柏、横須賀、小田原、厚木、秦野、鎌倉、三島、相模原、静岡、浜松、沼津、清水　（43）
東海 17（43）	39.5％	関、恵那、瑞浪、春日井、津、伊勢、鈴鹿、尾鷲、熊野　（9）
近畿 41（67）	61.2％	福井、敦賀、武生、勝山、鯖江、彦根、草津、守山、舞鶴、福知山、綾部、宮津、亀岡、城陽、泉大津、北大阪、守口門真、高石、貝塚、洲本、高砂、龍野、小野、奈良、生駒、海南、田辺、橋本、紀州有田　（30）
中国 31（50）	62.0％	鳥取、米子、松江、浜田、出雲、平田、益田、大田、江津、津山、下関、宇部、山口、徳山、下松、萩、岩国、山陽、長門、光、小野田、小郡、柳井　（23）
四国 26（29）	89.7％	鳴門、鴨島、阿波池田、阿南、高松、丸亀、坂出、観音寺、多度津、善通寺、宇和島、八幡浜、新居浜、西条、伊予、大洲、東予、高知、中村、安芸、須崎　（21）
九州 46（76）	60.5％	八女、豊前、行橋、筑後市、宮田、甘木、伊万里、小城、鹿島、長崎、島原、諫早、大村、福江、平戸、別府、大分、日田、佐伯、臼杵、津久見、佐賀関、豊後高田、竹田、日向、高鍋、鹿屋、串木野、名瀬、沖縄、沖縄宮古　（31）

一期一会

心のふれあいがなければ人の良さは分からない

鈴鹿商工会議所青年部会会長　広森　重孝

[illegible]

編集後記

[illegible]